

令和5年度 各務原市立中央小学校 学校経営の全体構想

【願う子どもの姿】

- ・進んで学び、自ら考え、行動できる子
- ・気持ちを理解し、認め合い、進んで協働できる子
- ・願いや目標をもち、やりぬく子
- 合言葉「みんなで協力 みんななかよし」

【教職員の基本姿勢】

- 1 職場や仲間を大切にする
 - 互いに尊重し合い、チームで動く教職員
 - ・互いのよさを取り入れ、よさを組織で生かす。
 - ・主体的に率先垂範を心がけ、資質向上に努める。
 - ・誰もがその分掌のリーダーとして、重んじる。
- 2 「子どものために」汗をかく
 - 点と点をつなぎ、線にして方向付ける教職員
 - ・意味や意義を明確にし、意欲や思い・願いを丁寧に引き出して、子ども、保護者、地域の方と一緒に努力したことやよい事実をつくる指導に努める。
 - 危機管理と安全・安心の推進に行動で示す教職員
 - ・高い危機意識をもち、素早く、適切で誠実に行う。
 - ・感染症予防対策
 - ・生徒指導上の問題行動や不登校等の対応に、教育相談を基盤にしなが、未然防止、早期発見、迅速対応、関係機関との連携に組織で対応する。
 - ・食物アレルギー等、個別対応を共有し、見届ける。
 - 主体的に研修する教職員
 - ・自分の実践に「これでよし」と終えてしまわず、振り返り、新しいものや深められるものを学び続ける。

【学校運営協議会を核とした 家庭・地域・学校間・諸機関との連携】

- 1 小中連携、幼保小中連携の充実
 - 中学校区の小学校間による交流の推進
 - スムーズな移行のための幼・保・中との連携強化
 - ・保育所、幼稚園との具体的な情報交換等の推進
 - ・小中学校教職員交流と校区間小学校の指導内容の共有と統一
 - ・小中学校生同士による交流の拡大
- 2 保護者、地域とのさらなる連携の強化
 - コミュニティスクールによる地域の共通活動を通して、「地域とのつながりを感じられる子」を育てる。
 - 保護者や地域への情報発信や情報収集を行う。
 - 親と子、親と親、親と学校、親と地域が、一つになれるPTA活動を推進する。

【願う学校の姿】

「あたたかさ」「活気」「誇り」あふれる中央小学校
～自分や自分たち、地域に誇りをもつ児童を育てる～

【学校の教育目標】

進んでやりぬく
中央の子

【キーワード】

「志をもって今を輝く」

【指導の重点と具体的方途】

【学びづくり】

- 1 「分かった・できた」*や「学ぶ楽しさ」*が実感できる授業 ※課題に主体的に向き合い、他者との関わりを通して、課題を解決する学習を行う。
 - 中央小授業展開のスタンダード
 - ・「何をすればよいか」「何が分かればよいか」が見通せる学習課題の設定
 - ・自立解決、仲間と深め合う場の充実と、教師による個と全体の学びの価値付け
 - ・「努力したこと」「分かったこと」「深めたこと」「友だちから学んだこと」など、自己の変容を過程や努力から振り返る自己評価と教師の価値付け
 - 学習状況の把握と状況に応じた個別支援
 - ・つまづきと手立ての明確化及び努力の価値付け
 - 特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインによる環境と授業づくり
- 2 授業を支え、深める実践の充実
 - 中央小授業姿勢のスタンダード
 - ・意味や意義の実感と一人一人のよさの位置付けによる学習規律の定着
 - ・話す・聞く場面における話型の定着、意思を示すハンドサイン挙手、気持ちを切り替えるあいさつ
 - ICTを活用した学習活動の充実
 - ・問題解決学習における情報収集やプレゼンテーションによる考えの発表
 - ・個に応じた学びを深めるための家庭学習活用
 - 授業改善サイクル
 - ・学力調査や児童等アンケートを生かした授業改善

【仲間・こころづくり】

- 1 自発的、自治的な活動の創造
 - 一人一人に居場所があり、多様性を認め合い、互いに尊重し合って絆を深める児童会活動
 - ・願いや目標の設定と共有する場の位置付け
 - ・みんなで取り組む意識を高める評価
 - ・リーダー中心に自分たちの力で課題解決していく場の設定と企画・運営・評価する実践力の価値付け
 - ・ふわふわ言葉による他者評価「承認」と自己評価「貢献」「フィードバック」の相互評価の充実
 - ・一点突破の核となる委員会のキャンペーン活動
 - 2 相手を思いやる心の醸成
 - 道徳や学級活動、行事等を通した集団ルールの学びや人間尊重精神の育成
 - ・いずみ学級と交流活動
 - ・自分の行為の結果予測や、危険の予測回避など、先を見通す力の育成
 - ・道徳、人権教育、SDGs、共生による命の大切さを学ぶ機会*の充実 ※びびきあい週間(年3回)、あさがお思いやり宣言(中央小いじめゼロ取組)、命を守る訓練、情報モラル教室、登下校等の安全
 - ボランティア活動の推進
 - ・ボランティア手帳の充実と活動紹介の位置付け
 - 学級活動(朝の会・帰りの会を含む)の充実
 - ・自己決定の機会の位置付けと主体性を伸ばす話し合い活動、仲間のよさ見つけと見つけたよさの共有
 - ・社会性を養う SST や上級学年から学ぶ機会の位置付け

【暮らしづくり】

- 1 未来へあこがれと自信がもてる活動の発展
 - 伝統「あさがお活動」の充実と発展
 - ・歴史と伝統、新たな歴史づくり(創立45周年)
 - ・創立期に込められた「みんながひとつに！」の願いの実現
 - ・児童の意見が反映される自主的な活動の推進
 - ・仲間のよさの見つけ合いと認め合い
 - 活気あふれる「生き方」の追求
 - ・キャリアパスポートの活用と、成長やよさの実感
 - ・6年「夢発表」を出口にした、職業講話を含めたキャリア教育、生活科探検(1・2年)、中央探検隊(3年)、環境(4年)、福祉(5年)をテーマにした将来につながる地域学習
 - ファミリー活動(縦割り活動)の実施
 - ・人と関わる喜びを児童が獲得していく活動の推進
 - ・リードする年長者の主体的な企画
 - ・十分な準備期間の確保
 - ・「関わり合う喜び」を自信へつなげていく振り返り
 - ・思いを定着させる交流(作文や手紙等相互評価)
- 2 安全・安心な暮らしの構築
 - 教育相談の充実
 - ・児童への温かい寄り添いと、粘り強い働きかけ
 - 危機管理と防災への心構えの強化
 - ・安全点検の確実な実施と対処
 - ・防災意識を高める多様な想定訓練の実施
 - 体力づくり
 - ・コロナ禍を見据えた体力向上機会の確保

【学校経営の方針】

自分と周りの人を「大切にする心」を、子どもの存在や心を「大切にする心」で指導する
・「自分は大切な存在だ」「仲間も大切な存在だ」「自分は周りの人の役に立っている」「ここが自分のよさだ」等、自他を肯定的に捉えられる機会を、教育活動の中で投げかけていく。

【学校の課題】

- ・自己肯定感(自尊感情、つながり)の高揚
- ・確かな学力の定着
- ・自ら考え、適切に判断し、仲間と共によりよい姿を求めていく「主体性」「共生」の育成

【市の方針】

- 「誇り」「やさしさ」「活力」のある児童生徒の育成
○市と地域が総力をあげて教育を充実
- ・たくましく生き抜く力の育成
 - ・安心して学べる教育環境の提供

【保護者・地域の願い】

- ・子どもが毎日元気で学校へ登校する。
- ・学校が安定・安心・安全な場所である。
- ・子どもの成長(学習、生活、体力、心)が感じられる。
- ・地域と子どもたちとの交流がある。
- ・将来、地域を背負って立つ子どもたちの成長が感じられる。

【子どもの実態】

- ・温かく優しく、協力して生活したり、よさを認めたりする児童が多い。
- ・学習に対してまじめに取り組むことができる児童が多い。
- ・理論立てて物事を考えることに課題がある。

【県の方針】

- 第3次岐阜県教育振興基本計画
- ・ふるさとに誇りを持ち、「清流の国ぎふ」を担う子どもたちの育成
 - ・「自立力」「共生力」「自己表現力」